

1. 成績評価および単位認定

- 1) 試験等による学修の評価は、S、A、B、C、D 及び R(認定)のいずれかで表し、S、A、B、C 及び R を合格とし単位が認定される。

判定	評価と評点区間	評価の基準
合格	S (90 点以上)	到達目標を十分に達成し、きわめて優秀な成果を修めている
	A (80 点～89 点)	到達目標を十分に達成している
	B (70 点～79 点)	到達目標を達成している
	C (60 点～69 点)	到達目標を最低限度達成している
不合格	D (59 点以下)	到達目標を達成していないので再履修が必要である

※履修放棄(受験資格喪失)は L(不合格)、定期試験欠席は N(欠席)

- 2) 追試験の成績評価は、A を最高限度とする。
3) 再試験の成績評価は、C を最高限度とする。

2. GPA (グレード・ポイント・アベレージ) 制度

GPA 制度は、履修した成績を下記の計算方法により換算することで、より具体的に個人の学習達成度が確認できるとともに、努力目標がより明確になり、学習に対する意欲的な取り組みを期待するものである。

- (1) 卒業には、通算の GPA が 2.0 以上であることが望ましい。
(2) 通算の GPA が 3.0 以上の学生は、学長賞・優等賞の選考対象となり、成績優秀者として卒業式で表彰される。
(3) 通算の GPA が原則として、2.8 以上の学生は、就職(進学)の際、学長推薦が得られる。
(4) 1 年終了時、通算の GPA が 2.0 に達しない場合、GPA 以外の学修状況も踏まえ個別指導のうえ進級を判定する。
(5) 成績不振(通算の GPA が 2.0 に達しない)の学生に対しては、学科の教員が指導を行う。状況によっては保護者を交えて面談し、勉学の方法・今後の履修の仕方について助言や指導を行う。

※学生ポータルサイトで確認可能。また、卒業時に発行するディプロマ・サプリメントに GPA を記載する。

外部提出用の成績証明書には記載しない。

●グレードポイントの設定

成績評価	グレードポイント
S	4 点
A	3 点
B	2 点
C	1 点
D	0 点
受験資格喪失	0 点

●GPA 算出方法

$$\text{GPA} = \frac{(\text{履修科目の単位数} \times \text{グレードポイント})\text{の合計}}{\text{履修登録科目の単位数の合計}}$$

※GPA は、履修登録した全科目を対象とする。
途中で履修放棄した当該科目のグレードポイントは 0 点となるので注意すること。